

2030年まで残り5年を切りました。

SDGsの重要性はますます広がっていますが、

貴社はSDGsをどのように認識し、行動していますか？

どこかで、「大企業や余力のある企業がすること」などと、考えることを後回しにしていますか？

社会貢献なので手間やコストが見合わない、社内の大改革・大変革が必要になる、自社には効果がない、などと考えていませんか？

その一方で、**どの企業も無視することはできないものと、気づき始めているのではないのでしょうか。**

鳥取県では、「SDGs」が企業経営に持続性を持たせる重要な要素であると考え、地域の中小企業に関係の深い内容・項目で構成した『**とっとりSDGs企業認証制度**』を運用しています。

漠然と考えていた「SDGs」を、自社の活動へと結びつけた企業や、SDGs視点で、新たな事業に挑戦される企業などが現れています。

認証制度で貴社のSDGs経営を見える化しませんか？

(令和7年3月発信)



認証制度や支援内容のお問い合わせ、申請相談は以下の窓口へご連絡ください

SDGs企業認証サポート窓口（鳥取県商工労働部商工政策課内）

◆TEL：0857-26-7602 ◆FAX：0857-26-8117

◆MAIL: shoukou-seisaku@pref.tottori.lg.jp

とっとりSDGs企業認証制度の主なメリット

○ 社会への貢献を見える化して、企業イメージの向上へ！

- SDGsは、2015年に国連加盟国の全会一致で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標ですが、社会の一員として企業の積極的な参画が欠かせません。
- 日本のSDGs推進本部が決定した持続可能な開発目標(SDGs)実施指針では、「企業が経営戦略の中にSDGsを据え、個々の事業戦略に落とし込むことで、持続的な企業成長を図っていくことが重要」とされています。
- 本制度は、事業者の自主宣言にとどめず、第三者の外部審査員の評価を踏まえて、鳥取県が認証する公的制度で、認証事業者へのアンケート調査では、企業イメージ向上に繋がったとの回答が8割ありました。

○ 学生をはじめ、多様な人材に選ばれる企業へ！

- 民間調査によれば、7割に迫る学生から「企業がSDGsに取り組んでいることを知ると、志望度が上がる」との回答があったとのこと。「SDGsに取り組む企業のほうが将来性を感じる」との声もあり、学生の企業選択に大きく影響しています。
- SDGsの視点で、多様な人材に配慮した職場環境を整えていくことは、従業員が安心して自身の能力を発揮できる職場となり、モチベーションアップや人材定着に繋がっていきます。

○ 資金調達先や取引先から選ばれる企業へ！

- 有価証券報告書では、サステナビリティ情報の記載が令和5年3月期から開始されたほか、サステナビリティ情報の開示基準の草案も令和6年3月に公表されるなど、SDGsと企業評価の結びつきが強まっています。
- ESG投資の国内投資残高は、2015年の26.6兆円から2024年に625.6兆円へと拡大が続き、SDGs対応が金融機関や取引先などへの大きなアピールポイントになっています。

○ 自社の経営ツールとして活用し、企業価値の向上へ！

- 本制度は、SDGsの17の目標になぞった機械的なものではなく、地域の中小企業に関する内容や項目で構成する鳥取県オリジナルの制度で、自社の経営ツールとしても活用いただけるものとしています。
- 取り組んでいく項目・目標は、自社の特性に応じた設定が可能であり、自社のレベルに応じた運用も可能です。認証企業は、従業員数20人以下の事業者が、全体の2割を超えています。
- これまでに認証した事業者からは、「自社の取組を言語化できた」「何をすべきか明確になった」などの声があったほか、企業経営にアップデートしている例も見られています。

[参考事例]

- 認証審査員の意見を糧にして、委員会活動の推進やHPリニューアル等を実施
- 事業目標とリンクさせ、上手く進捗管理を実施
- SDGs経営促進補助金などの関連支援メニューを活用し、新事業に挑戦

(出所)

- 令和6年度とっとりSDGs企業認証認証事業者アンケートの集計結果
- 学情 2026年卒学生の就職意識調査(SDGs)2024年10月版
- 「サステナブルファイナンス有識者会議 第四次報告書」(令和6年7月9日)
- 日本サステナブル投資フォーラム「サステナブル投資残高アンケート2024 調査結果速報」